

大学院生シンポジウム GS01

若手が拓く糖尿病とその合併症に対する多角的探究

～新たな治療戦略の開発を目指して～

Multilateral Approaches of Diabetes Millitus and Its Complications by Young Scientists

-Development of Novel Therapeutic strategy

飯塚 直人¹, 澤谷 俊明²

¹北里大院薬, ²静岡県大院薬

2型糖尿病は世界的に爆発的に増加の一途を辿っている生活習慣病であり、世界の糖尿病人口は現在4億人を超え、2045年までには7億人に達すると考えられている。糖尿病による持続的な高血糖状態は、網膜症や腎症、神経障害をはじめ様々な合併症を誘発し、患者のQOLおよび寿命を著しく低下させてしまう。そんな中、従来 of 血糖降下 のみに重きを置いた薬物治療だけでは、このような糖尿病の爆発的な増加やそれに伴う合併症を防ぐには限界があり、糖尿病に対する革新的な新規治療法の開発が求められる。そこで、本シンポジウムでは、2型糖尿病の発症および増悪に関わるインスリン分泌障害およびインスリン抵抗性、さらには血管障害や網膜症、呼吸器疾患および心疾患等の合併症について、様々な研究背景を持つ6名の大学院生による発表の場を設ける。糖尿病に関する基礎研究のみならず、臨床に繋がる内容も踏まえて総合的に討論することで新たな糖尿病治療開発の貢献につながることを望む。また本シンポジウムが、今後の糖尿病研究を担う若手研究者の意見交換の場となり、聴講者含めて自身の研究において新たな展望を見出すことを期待する。